

除染事業

須萱工区は10月末で国委託事業対象区域の除染工事を終了しています。本格除染の二枚橋、白石、大久保・外内、前田・八和木、関根・松塚の5つの行政区についても作業員の増員を図りながら実施しています。残りの14行政区については、来年4月からの着手に向けて、除染同意と居久根の契約、仮仮置場の設置を進めています。また、来春からの除染をスムーズに進めるため、冬期間に「居久根伐採」を先行して行うよう準備をしています。長泥行政区は国と協議中です。

村外での営農再開支援

平成24年度より個人負担を極力抑えた事業を活用して実施しています。東日本大震災復興交付金のうち、被災地域農業復興総合支援事業では、平成24年度に13農家に対し、県外1市を含む6市1村にパイプハウス等53棟建設、農機具などを整備。また、今年度は1農家に対し、県内1市にパイプハウス4棟及び

附帯施設等一式を整備する予定です。

農地除染モデル事業

除染を実施した草野向押地区、小宮地区の圃場では、農林水産省所管事業による米の実証栽培を行い、10月9日に稲の刈り取りを行いました。今回栽培した実証米は、全袋検査を実施し基準値以内であれば、流通及び食することも可能で、検査の結果全ての米が基準値を大きく下回る、25ベクレル未満の検出限界値以下でした。収穫された



災害公営住宅飯野町団地建設工事

米は、農地除染や実証栽培等に協力をいただいた大学や行政機関等のイベントなどで来場者に対し無料配布や試食会を行いました。除染した農地で適切に管理すれば安全な米が収穫されること、さらにはこのことへの理解を求める活動として実施しています。また、長泥地区は、営農再開支援事業による米の試験栽培として、5アールを作付けし、10月15日に刈り取りを行いました。検査の結果、国の基準を大きく下回る25ベクレル未満の検出限界値以下でした。帰還困難区域での試験栽培ですの

で、収穫された米は、全て破棄しました。営農再開に向けては、一歩前進した結果であると考えています。

除雪体制

11月29日に除雪担当者会議を開催し、除雪体制を整えました。村がリースする除雪機械と建設業者等の保有する土木作業機械により除雪1次路線は、57路線、102kmを実施いたします。除雪2次路線は、133路線110kmを実施いたします。

一時帰宅支援事業

長期化する避難生活の中、「いつとき帰宅バス」を8月2日から運行開始し、11月30日現在268人が利用しています。交通弱者と呼ばれる高齢者の一時帰宅の足の確保し、自由にするさへ帰れることにより、ストレス解消や自宅の手入れをしながら、心身の健康と財産の維持管理を図っていくことにつながっています。

避難状況

11月1日現在、県内自治体には、福島市1686戸で3791人、伊達市286戸で576人、相馬市208戸で434人、南相馬市210戸で372人、

川俣町218戸で552人、二本松市39戸で89人、国見町36戸で69人、郡山市37戸で53人などが主な避難先です。県外への避難は289戸で496人です。ほかに自主避難、村外の親戚宅や老健施設、病院に360戸で643人、村内に残る未避難者は8世帯12人、村内については、いたてホームに67人が入所しています。

いやしの宿いたて

平成24年9月からスタートし、11月に利用者5万人を突破し、村民の交流の場として、また心身の健康増進やストレス解消に大きく寄与しています。

企業関係

区域見直し以降、金融機関、ガソリンスタンド、自動車整備業、建具製造業など平成25年11月末まで28事業所が国の許可を得て、村内で事業を再開しています。

賠償関係

村民の賠償未請求者86世帯165人については、その後東京

電力のダイレクトメール等により、10月31日現在67世帯127人まで減少しており、今後も未請求者の減少へ向けて取り組んでいきます。

敬老会

9月15日に敬老会を飯館中学校の仮設体育館で実施しました。当日は雨の中、去年より多い約350人のお年寄りが出席し、村からの敬老祝い金を始め、金婚夫婦への表彰状と記念品などが贈られたほか、引き続き行われた懇親会では草野・飯樋幼稚園児や3つの団体から演芸などが披露されました。特に今年は、徳島県阿波踊り協会の皆さんによる本場の阿波踊りが披露され、久しぶりの再会と合わせ楽しいひとときを過ごされたようです。

世界遺産白川郷バスツアー

9月25日から28日にかけて、「日本で最も美しい村」連合加盟の岐阜県白川村のご厚意により、世界遺産白川郷バスツアーを実施しました。26人のお年寄りが参加され、合掌造りで有名

な白川郷でどぶろく祭りなどに参加し、避難の疲れを癒す機会となりました。

教育関係

支援事業として、10月18日には自衛隊福島駐屯地音楽クラブによる中学校訪問、10月24日には有名なデザイナーであるコシノジュンコさんのワークショップ、11月1日にはアメリカからミュージカルの公演、11月5日にはアフリカ音楽のコンサートがそれぞれ小学校で開催されています。11月16日には、ランドセルの贈呈式を行い23人の新入学児童に善意のランドセルを贈りました。避難という厳しい環境ですが、村内では得がたい経験を積んでおり、こうした経験を糧に子どもたちには、大きく成長してほしいと願っています。

社会教育関係

9月8日に市町村対抗軟式野球大会、10月13日に栃木県鹿沼市の秋祭りご招待、10月26、27日には第30回記念いたて村文化祭が福島市のパルセいざか

で行われ、1000点を超える作品展示と17の団体による舞台発表がありました。会場では多くの村民が久しぶりに再会し、たくさんの笑顔が見られました。また、福島市飯野地区、飯坂地区の皆様や新潟県人会の皆様にも祭典に花を添えていただきました。

ふくしま駅伝

11月17日にはふくしま駅伝が開催され、村チームは3年ぶりに全区間参加をすることができました。ふるさと飯館村のタスキをつないでくれた選手皆さんの姿は、多くの村民に希望と元気を与えてくれました。関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

